

年間行事予定

- ◎1月13日(月祝日) 9時〜12時  
成道会(じょうどうえ)  
釈尊がお悟りを開いた事に因んだ行事
- ◎1月15日(水)  
懺法会(せんぼうえ)  
観音さまに懺悔と安泰を祈願
- ◎1月17日(金)  
初観音講
- ◎2月11日(祝日)  
新福寺大般若 ※祈願申込書を配布
- ◎2月15日(土)  
涅槃会(ねはんえ)  
お釈迦さまの命日、大涅槃図展覧
- ◎3月14日(金)  
春季巡教(しゅんきじゅんきょう)  
本山巡教師ご法話、涅槃堂総供養
- ◎春分の日(3月20日)  
お接待 どなたでも参加できます  
三川各地、お寺は観音堂にて開催  
☆お菓子のお接待

- ◎5月5日(祝日)  
降誕会(こうたんえ)釈尊の誕生日  
(☆山門にて甘茶接待)
- ◎8月1日〜4日  
お盆のお参り
- ◎8月16日(土)  
山門大施餓鬼(さんもんだいせがき)
- ◎12月31日(水) 23時半〜  
除夜の鐘
- ◎毎月17日  
観音講
- ◎御講当番  
辻・南・東
- ◎お寺で婚活 吉縁会  
参加には登録が必要です。詳しくは  
吉縁会ホームページをご覧ください

祝 米寿

数えて米寿(満87歳)をお迎えの方はお寺までお知らせください。大本山妙心寺管長猊下よりご祝辞と記念品がごさいます。

修理箇所報告

本堂前十三重の塔、道路側への傾斜を修正。天満社との境界ブロック、倒壊懸念部分を撤去。大権修理菩薩、達磨大師尊像完全修復。納骨堂ロッカー番号札を新調。旧観音堂扁額を修復中。

あしがき

私も家庭内で仏教聖典の奉読を取り入れたのですが、解りやすいと好評でした。育児というドタバタが落ち着いたら、また再開しようと思います。今年、昭和で換算すると100年になるそうですね。ずいぶん遠くに来た感じがします。昭和最後の63年ころ、皆さんはどんな思い出がありますか？私はまだ小学生。子供ながらにバブルという雰囲気、それとなく感じていました。

長勝寺報

第16号  
令和7(2025)年  
新春

長勝寺  
ホームページ



発行所

〒八七〇一〇一四二  
大分市三川下二丁目六番二十三号  
Tel.〇九七―五五八―四二八七  
臨済宗妙心寺派 長勝寺  
E-mail tyosyoji.orit@gmail.com

巻頭言

感染を防止するにはどうしたらよいか？こう問うと、予防法が口々に発せられる。コロナを経験したことによる、数少ないメリットだろう。25年前、寄宿先の学生寮の会議で、大真面目に風邪の予防法を披露したところ、皆から「小学生じゃあるまいに」と大笑いされてしまった。実は医師である祖母に、当時実現可能であった対策を教えてもらい、それをそのまま伝えたのだったが、私の説得力の無さも手伝って全く理解されなかったのだ。ちなみに、その会議の結論は「気合」であった。残念ながら、本当に有効なことは、その必要性を痛感するという痛みを経なければ一般化されないようだ。同じ事は仏教にも当てはまるのではないだろうか。日本では仏教文化に多くの注目を集める一方、その教義にはさほどの関心が集まらない。京都の由緒寺院の数々は、外観や、間取り、庭園、空間的雰囲気、音、儀式、その細微に到るまで、仏教的精神が反映されている。一歩足を踏み入れたならば、誰もがその風情に感嘆する。更にもう一歩。その素晴

らしさの生みの親である「仏教」に親しんでいただきたいの思いを長年抱いてきた。自身に降りかかる諸問題に解決の近道を示すものでもあるからだ。この度、仏教伝道協会発行の「仏教聖典」を施本として配することにした。多くの篤信諸家の手に渡ることを期待したい。自ら手に取り愛読するはもちろん、自分は読まなくても知人に渡すなどすれば、その功德の大きさは計り知れない。今は興味があくなく、吉縁であれ凶縁であれ、何かの縁で手に取る事があるかもしれない。ちょうど干支はへび年。蛇の道は蛇ということわざの通り、仏の教えという道を共に訪ね、法悦を共にする年となるを願いつつ。

※仏教聖典は観音堂内左、弘法大師をお祀りする側にございます。ご自由にお持ちください。ご遠方の方へはお送りしますので、お寺までお知らせください。尚、仏教伝道協会HPにはPDF版仏教聖典もあり、PDFリーダーアプリを使えばスマホ上で書籍のようにご覧いただけます。

### 車椅子とスロープを新たに装備

長勝寺の庫裡は築150年ですので、バリアフリーではありません。段差に躊躇して、お越しになられることをご遠慮なさる方もあったことと思います。この度、ある方から車椅子をご寄付頂いたのですが、併せて持ち運び可能なスロープも新設致しました。今まで本堂に上がれなかった方も、車椅子のままご移動頂けます。お志を頂きました方に心より感謝申し上げます。尚、スロープを移動の際には、補助の方が複数必要です。ご利用の際には事前にお知らせください。

### 本堂戸帳を新調

本堂の正面に掛ける布地を戸帳(とちよう)と言います。今掛かっているものは機械織製です。経年劣化によって、破れなどの傷みが出ていましたが、繕いをして維持してきました。この度、新調に向けた構想を進めておりましたところ、丁度、某氏よりご寄付を頂きましたので、これを機械織ではなく、より長持ちする手織りの資金とさせて頂きました。現在京都にて、はた織りを依頼しております。もし、ご寄付のお志をお持ちの方がおられましたら、ご一報ください。織り上がった裂地を戸帳に縫製する費用に充てさせて頂きたく思います。

### 十三重の塔、木の根で傾く

本堂前の十三重の塔は先代が晋山した際の記念で建立されたものです。30年ほど経過しましたが、最近道路側への傾斜が目立ってきたため、修復することになりました。掘り起こしてみると基礎が浅く、太い根が土台ごと持ち上げていました。新たに鉄筋コンクリート製の基礎を作って据え直すと、文章にすると簡単そうに聞こえますが、壊れないように解体したり、重機が入らないので穴掘りはすべて人力。水平がとれない階層を微調整したり、中々の難工事でした。ケガもなく、安全に作業を終えられたのが何よりの幸でした。



### お香の話

線香は抹香臭いから嫌い、という方もおられるようですが、ある方から、先々代は「抹香臭いというのは安物を使うから悪いんじゃない」と仰っておられたよ。との昔話をお聞きました。お香にも色々な種類がありますが、伽羅、沈香、白檀、漢薬などが有名です。お焼香の時にくべる粉末は、それら5〜10種類を独自の配分で調製したもので、線香はそれになぎを入れています。棒状に固めたものです。年々、資源の枯渇でお香が入手しにくくなってきました。入手するのも大変です。かと言って、合成香料を使った廉価品は、その煙を吸って気分が悪くなったこともあり、ご仏前に質の低い物を使う気にはなれません。いつだったか忘れましたが、お線香は、そのうちに用意されたものをお借りするのではなく、本来は自分で吟味した物を用意してお供えするものだ。と聞いてから、私は月参りなどでお伺いする時には、自前のお線香をお持ちすることにしております。おもに京都のものが多いのですが、きちんとした香には、それなりの効能があります。存亡ともに香の功德で満たされますように。詳しくは「香十徳」で検索してみてください。

### シリーズ 長勝寺の至宝

#### 達磨大師、大権修理菩薩尊像

昨年長勝寺報にてお伝えしました両像の修復が完了しました。修復中、この像はすべて三川で製作された事が判明しました。約200年前の当地に、このように高度な技術が存在した事に驚きを隠せません。仏像には仏の心とそれを作った方の願いとがあります。今回、像内にはお世話になった仏師さんや、修復の由来を記した書付を納めました。



達磨大師像香脱裏にあった書付。文政10亥年は西暦1827年。今三川村(現三川上)三浦主水平義68才の作